



2014  
花巻アートギャラリー  
情報

丁字路

館長コラム

「夜景」の絵画

さまざまな絵画様式を検証する場として、萬鉄五郎が数多くの自画像を描いたなかで、特異な作品が『雲のある自画像』（岩手県立美術館蔵）である。その憔悴して憂鬱な表情は、世にも哀れな顔をしてペシミステイックであるが、漆黒の背景の頭上にポツカリ赤い雲がひとつ浮いているだけで、なんとなく可笑しみが感じられユーモアを誘う。肖像画のバックとして夜景のような「黒」はきわめて珍しい。



萬鉄五郎《雲のある自画像》1912-13年 油彩・画布 岩手県立美術館

この時期の萬自画像の基点はゴッホである。ゴッホは西欧絵画史で夜の情景を多く描いた最初の画家である。アルル時代の肖像画

像画『ウジェーヌ・ボックの肖像』のモデルは、ゴッホが弟テオを通じて知り合った友人のひとり、ベルギー出身の画家・詩人であった。この絵のバックが普通の室内ではなく、星がきらめく夜空であるのが、きわめてユニークで、夜空を人物のバックに描いた史上初めての作品となった。ゴッホに傾倒していた萬鉄五郎は、この肖像画の図版から影響を受けたと思われる。



フィンセント・ファン・ゴッホ《ウジェーヌ・ボックの肖像》1888年 油彩・画布 オルセー美術館

また、ゴッホは室内を描いた『夜のカフェ』のほかに、カフェの夜景を描いた『夜のカフェテラス』がある。星が輝く夜空を背景に、アルルのフォールム広場にあるカフェを黄色を主体に、夜空の青と対比させ見事にカフェの夜の雰囲気を描きだした。その頃ゴッホは弟テオへ「夜の情景や夜の効果をその場で描き出すこと、さらに夜そのものを描くこと、これが今僕の興味の中心なのだ」と手紙に書き送っている。

ゴッホの代表作『星月夜』は、糸杉が天に向かつて燃え上がり、夜空に不気味に黄色く輝く月と星が、ゴッホの心情を反映したように、渦巻きながら輝いている夜の風景画。かつてヨーロッパには夜の風景画はなかったが、ゴッホが浮世絵の影響を受けて描いた。



歌川広重《名所江戸百景 猿わか町よるの景》1856年 木版・紙

広重の最後の大作『名所江戸百景』には、夜の風景画が多く描かれている。華やかな芝居町であった猿若町（現、浅草六丁目）の夜景を描いた『猿わか町よるの景』は、満月に照らされて夜の町をそぞろ歩く人々の影帽子も描かれ賑いを伝えている。そのほか『両国の花火』など多く描かれた。浮世絵は宗教、制度などにとらわれない自由さがゴッホらを魅了した。

萬鉄五郎記念美術館 中村光紀

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢5-135 Tel/Fax.0198-42-4405 8:30am~5:00pm  
yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html/ 月曜休館（祝日の場合その翌日）  
発行人／東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明





# 萬鉄五郎記念美術館



街かど美術館 アート@  
つちざわ<土澤>

## 萬鉄五郎の愛した丘に建つ美術館



萬鉄五郎記念美術館の展示室



萬鉄五郎《丘のみち》  
1918年 油彩・画布

萬鉄五郎記念美術館は日本の近代美術の先駆者の一人、萬鉄五郎（1885-1927）を顕彰するため、1984年5月開館しました。当館は萬の生地である土沢が一望できる、彼がこよなく愛した「館山」に位置しています。この館山をモチーフに「丘のみち」という作品も描かれています。

当館では「萬と土沢」をテーマに、萬の油彩画・水墨画・素描などの作品にあわせ、スケッチブックや遺品など資料も所蔵・展示しています。

開館以来、萬鉄五郎を調査研究する一方、岩手の近現代美術や、親しみやすい美術作品を紹介する展示会を開催してきました。

本年2014年は、開館30周年ということで様々な記念の企画展を予定しています。

### 2014 展示予定

3月4日～4月13日	IWATE MODERN ART 具象表現の系譜展
4月19日～6月下旬	開館30周年記念 萬鉄五郎 生命の爆発展（予定）
7月上旬～8月下旬	開館30周年記念 親子で楽しむ萬鉄五郎展（予定）
9月上旬～11月下旬	絵本作家 馬場のぼる展（予定）

## 街じゅうがドキドキのアート空間に



上：アート&クラフト<土澤>マーケット風景

「街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>」は、画家・萬鉄五郎の生地、岩手県花巻市東和町土澤地区と晴山地区を会場に、絵画・彫刻・インスタレーション・舞踊など様々なジャンルの芸術家50名が全国から集まり開催されるアートプロジェクトです。2005年の第1回展から数えて本年で6回目の開催となります。

展示会場は、土沢の街なかの空き家・空き地はもろろん、営業中の店舗や、実際に生活している家屋まで、約50ヶ所が利用されます。

また、一年中アートを楽しめる街をコンセプトに、春と秋にはいろいろな手作りの作品が集まるアート&クラフト<土澤>マーケットを開催。街かど美術館は、多彩なアートの楽しみ方を提案しています。

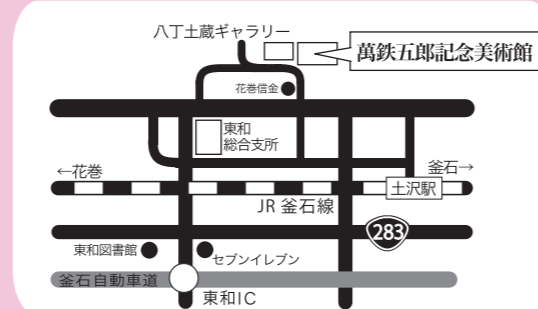
### 2014 イベント予定

5月3日、4日	アート&クラフト<土澤>マーケット（春）
10月11日～11月9日	街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>
10月中旬	アート&クラフト<土澤>マーケット（秋）

アート@つちざわ展示会場  
左上：真板雅文 2005  
左中：岡部昌生 2006  
左下：小林志保子 2009

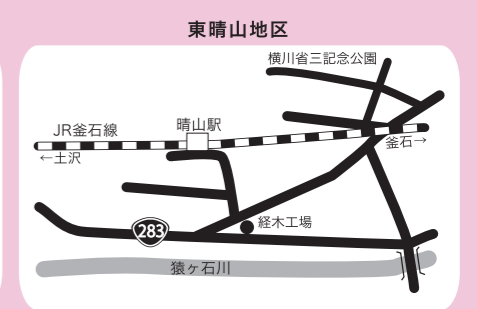
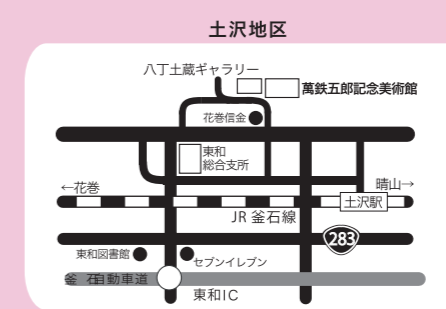
## 萬鉄五郎記念美術館

住所：〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135  
電話：0198-42-4402 FAX：0198-42-4405  
HP：http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html  
時間：8:30～17:00  
定休日：月曜日（祝日の場合は翌日）  
入場料：常設展 一般400円、中高生250円、小中学生150円  
（企画展の場合上記料金に追加されます）  
駐車場：あり



## 街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>

住所：〒028-0114 花巻市東和町土沢5-135  
萬鉄五郎記念美術館内（事務局）  
電話：0198-42-4402 FAX：0198-42-4405  
HP：http://www.arttsuchizawa.com/  
mail：purupurupult@gmail.com  
時間：10:00～16:00  
定休日：なし  
入場料：なし  
駐車場：あり







# Gallery Space けやき ラウンジ

## けやきの木の下で、人と人をつなぐ

大きな窓のある開放的な喫茶室で、「表現者」と「観賞者」をつなぐ場所として時を過ごしています。

大きな窓のある開放的な喫茶室で、「表現者」と「観賞者」をつなぐ場所として時を過ごしています。

ギャラリーを運営する「けやきの会」は、「会場に足を運び、生の作品を鑑賞し、作家と語り合う場としてけやきラウンジを活用したい」との思いから発足。アーティストと観賞者がともにお互いの関係を築き上げていくという会です。アーティストはもとよりギャラリーの応援も加わった活動も現在90数名に増え、活動を支えています。

土沢の国道283号線沿い、大きなけやきの木が目印の東和図書館。その入り口正面にあるけやきラウンジは、1998年から画廊喫茶として月ごとにアーティストの展示を続けています。



コンクリート打ちっばなしの壁面

### 2014 展示予定

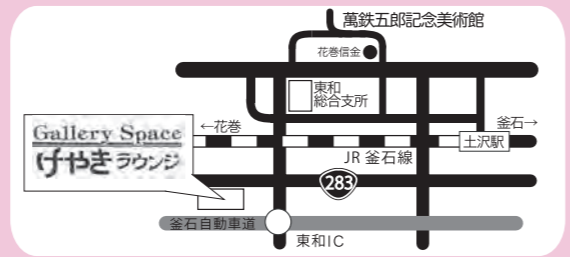
4月	菊池テル展	絵画
5月	阿部龍一展	絵画・ミクストメディア
6月	金井保憲展	絵画
7月	五十嵐彰展	絵画
8月	村井暁子展	絵画・ミクストメディア
9月	佐々木たつ子展	絵画
10月	安ヶ平愛美展	絵画
11月	第3回 穴窯の会展	陶芸
12月	第13回けやきの会チャリティ小品展	平面・立体



入り口左脇の展示コーナーも見逃さずに

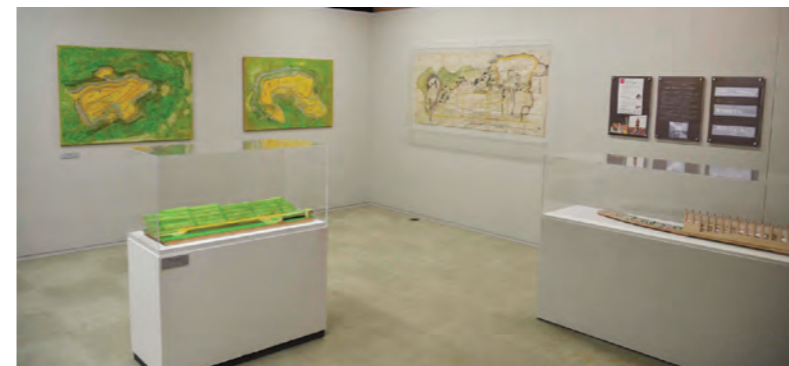
### けやきラウンジ

住所：〒028-0115 岩手県花巻市東和町安俣6-90  
東和図書館内「けやきラウンジ」  
電話：0198-42-3205  
時間：10:30～19:00(最終日～16:00)  
定休日：年末年始  
入場料：無料  
駐車場：あり



# 萬鉄五郎記念美術館 八丁土蔵ギャラリー

## 美術館となりのくつろぎのスペース

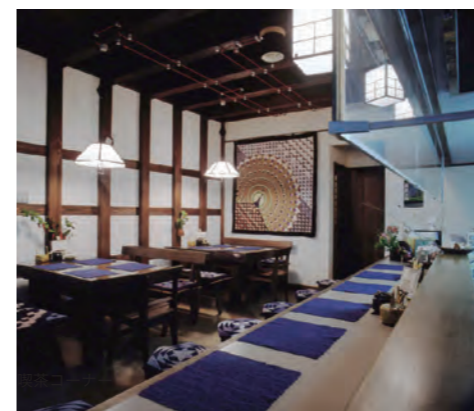


八丁土蔵ギャラリー

萬鉄五郎記念美術館の西側に建つ「八丁土蔵」は、1992年に萬鉄五郎生家の土蔵を移築、復元した記念建造物です。名称は、萬家の屋号「八丁（はちちょう）」にちなんで名付けられました。

2012年4月には、施設1、2階をギャラリーへとリニューアル。年に数回、現代美術を中心とした展覧会を開催しています。

また喫茶コーナーでは、オリジナルブレンド「蔵」「八丁」をはじめ、東和産のリンゴジュースなど、落ち着いた空間で味わうことができます。



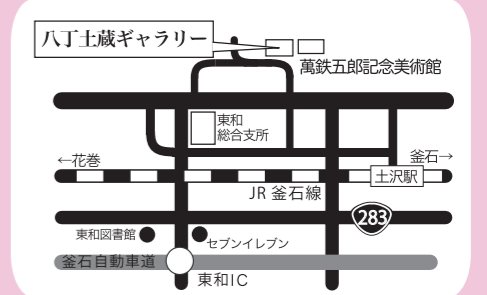
喫茶コーナー

### 2014 展示予定

4月下旬～6月下旬	虎尾 裕展	立体
7月中旬～9月下旬	杉本みゆき展	絵画
10月上旬～11月下旬	街かど美術館2014アート@つちざわく土澤>	
12月上旬～2月下旬	新田コージ展	絵画

### 萬鉄五郎記念美術館 八丁土蔵ギャラリー

住所：〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135  
萬鉄五郎記念美術館内  
電話：0198-42-4402  
時間：9:00～16:30  
定休日：月曜日（祝日の場合は翌日）  
入場料：無料  
駐車場：あり







# 田舎 labo

岩手県在住のクリエイターたちによる、たのしいモノ研究開発ユニット

### 【研究内容】

- 商品開発・製造・販売
- 企画・デザイン制作
- セレクトショップ
- イラスト・ロゴ制作
- アートギャラリー
- WEB制作
- イベントスペース
- サウンド制作・楽器演奏
- 各種ワークショップ
- コピーサービス など



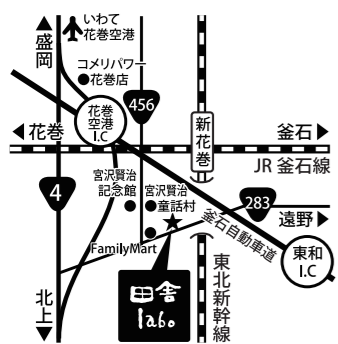
所長の 高橋 高弘 さん



広々とした展示スペース

### 田舎 labo (いなからぼ)

住所：〒025-0014 花巻市高松11-121-6  
 電話：0198-29-5991  
 HP：http://inakalabo.jp/  
 mail：info@inakalabo.jp  
 時間：11:00～17:00  
 定休日：水曜日  
 入場料：無料  
 駐車場：あり



ワークショップ（研究室）の様子。みなさん真剣に楽しんでいます



### ワークショップ（研究室）の予定

消しゴムはんこ・手づくりキャンドル・ニードルフルト・蠟引きポチ袋・ゆびあみマフラー・とんぼ玉・UVレジン・缶バッジ  
 銅版画・陶芸ブローチ・切り絵・こぎん刺し・ステンシル・紙すき・染め物・効果音・陶芸・電子工作・写真 など

ワークショップ、展示、イベントの詳細につきましては、「田舎labo」までお問い合わせください。



# ギャラリー 蔵

無限の可能性がひろがる古くて新しい場所



見上げる天井の迫力の木組み



赤い扉の中に大空間が広がる

JR釜石線の晴山駅は小さな無人駅です。電車を降りるとすぐ目の前にある「ギャラリー蔵」は、数年前までは農業用資材をいれる倉庫として使われていましたが、アートギャラリーとして整備され、運営計画が進められています。

持ち主の多田さんにより、2011年に東和町でおこなわれたアートイベント「アート@つちざわ」開催時に会場の一つとして提供されたこの場所は、梁までの高さが5メートルをこえる大空間で、来場者を圧倒しました。

現在は、盛岡市在住の作家長谷川誠さんが現地制作中。2014年秋の公開に向け、長谷川さんのキャリアの中で最大規模の展示に挑んでいます。

一年という長い期間の借用が可能なこのスペースは、あらゆる可能性をひめて、展示会のオープンに向けて着々と準備がすすめられています。

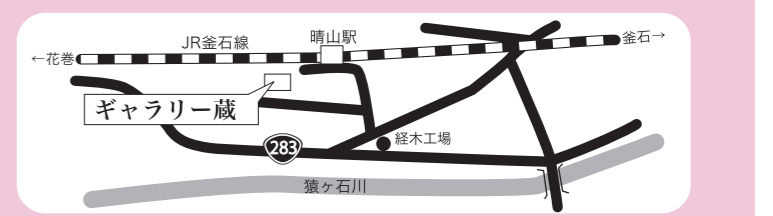
2014 展示予定	9月上旬～未定	長谷川誠展（仮）
	10月11日～11月9日	街かど美術館2014アート@つちざわ<土澤>展示会場



長谷川誠さんの制作風景

### ギャラリー蔵

住所：〒028-0113 岩手県花巻市東和町東晴山「JR晴山駅」前  
 電話：なし  
 時間：未定  
 定休日：未定  
 入場料：なし  
 駐車場：あり







るんびにい美術館  
borderless art collection

# るんびにい美術館

ボーダレスアートコレクション

生命力溢れる作品に触れる場所



アートディレクターの板垣崇志さん

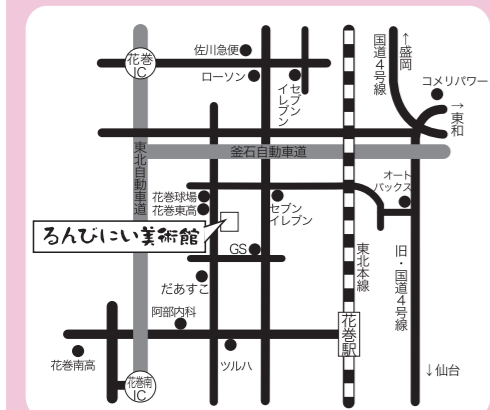
美術館2階のアトリエでは、光林会ルンビニ一苑の創作グループが楽しく制作活動をしています。見学も自由なので覗いてみてはいかがでしょうか。

障がいのある無し・性別・人種・国籍など、世の中に溢れるいろいろな境界を飛び越え、「命」を感じさせる作品を紹介したいという思いで展覧会を企画・開催。ワークショップやトークショーなど関連イベントも多く、毎回たくさんの方が訪れています。

花巻東高校にほど近い、「るんびにい美術館」は、社会福祉法人光林会が運営する、全国的にも珍しい障がいのあるアーティストの作品を中心とした美術館です。美術館外壁の一見模様にみえる部分は、よくみると「るんびにい美術館」の文字。これも、小林寛さんという障がいのあるアーティストの作品をもとにしたものです。

## るんびにい美術館 borderless art collection

住所：〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘1丁目21-29  
電話：0198-22-5057 FAX:0198-29-5058  
HP：http://kourinkai-swc.or.jp/museum-lumbi/  
mail：museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp  
時間：10:00～17:00  
定休日：水曜日 入場料：無料 駐車場：あり



個性的な展示室に作品が並ぶ



アトリエでの制作風景

### 2014 展示予定

3月28日～5月27日	一灯窯新作陶展&ルンビニック・アーティストツ (仮)
5月30日～9月中旬	「アール・ブリュット・ジャポネ」セレクション (仮)
9月中旬～12月中旬	舛次崇展 (仮)

詳細につきましては美術館までお問い合わせください



# ブドリ舎

# ブドリ舎

グスコブドリのように我が身を文化にささげる



ブドリ舎代表の浅野昌吾さん

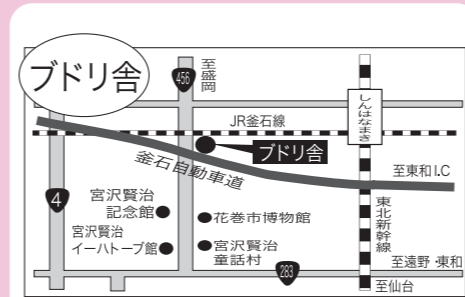
「ブドリ」の名前は、身を挺して皆を助けた宮沢賢治「グスコブドリの伝記」に由来します。無理をせず、自分たちのペースで続けている活動は、今も広がり続けています。

毎年ひな祭りの時期には、花巻人形の雛壇が飾られ、新旧の花巻人形を觀賞できる貴重な機会になっています。ほかにも年1回、2日間にわたって開かれる映画祭、イーハトーブ・アート・ステーションの会員作家によるアート展、ジャズを中心とした音楽コンサートなど多彩なイベント。10年前から活動している「花巻ジュニアスウィングオーケストラ」の練習及び発表の会場としても使われています。

新花巻駅にほど近い宮沢賢治記念館に向う踏切そばに、白壁がまぶしい蔵作りの建物があります。「ブドリ舎」は、芸術文化の発展と向上を目指すイーハトーブ・アート・ステーションの会によって発足し、現在は浅野氏により運営され、営利目的ではなく文化を発信する場所として、つくられてから20年近く、花巻の文化の拠点の一つになってきました。

## ブドリ舎

住所：〒025-0011 岩手県花巻市矢沢第4地割56-3  
電話：0198-32-1060 (鎌田広告室)  
FAX：0198-32-1061 (鎌田広告室)  
mail：kamakoku@sound.ocn.ne.jp (鎌田広告室)  
時間：各イベントによる  
定休日：各イベントによる  
入場料：各イベントによる  
駐車場：あり



左・上：花巻人形ひな祭り展の会場風景





CAFE/RESTAURANT/B&B

# 無ら里

Emotional&Relaxing



# ギャラリー Bun

隠れ家のようなB&Bで、壁面の芸術を楽しむ

緑の中でゆったり流れる時間



緑豊かな中庭

おちついた佇まいの店内に、作品が飾られている

レストランではコンサートが開催されることも多く、おいしい料理と芸術のハーモニーに、極上の時間が過ごせる空間です。

シェフこだわりのおまかせメニューが人気のレストランの壁には、約一ヶ月の期間でアート作品が展示され、訪れる人の眼を楽しませています。作品のジャンルも、油彩や水彩、彫刻などさまざま。展示を観にきて、すっかり「無ら里」のファンになり、再訪する人も多いたいいます。

「ゆったり・のんびり・そしてぶらりと・・・」花巻市中心部からちょっと足をのびた一本杉地区の森の中に「無ら里」があります。県内では珍しいB&B（ベッドと朝食を提供する小さなホテル）で、緑に囲まれた居心地の良い佇まいで長く愛されています。



オーナーの瀧成子さん

玄関を開けると、気取らない雰囲気、ゆっくりお茶を飲む明るい喫茶室。そこから展示室に一步入ると、一転して静謐な空間が広がります。喫茶と展示空間を区切りたいたいというのも、作品とゆっくり向き合っているという想いで2007年7月にオープンしました。

花巻市郊外、花巻南インター近くの田園風景の中にあられる「ギャラリーBun」は女性オーナーならではのやさしい雰囲気を持つ画廊です。渡辺文子オーナーの「一生、絵と関わって続けていきたい」「絵を観ながら、フランクにアートを語り合う時間を作りたい」という想いで2007年7月にオープンしました。



白い壁のギャラリーには外光がさしこむ



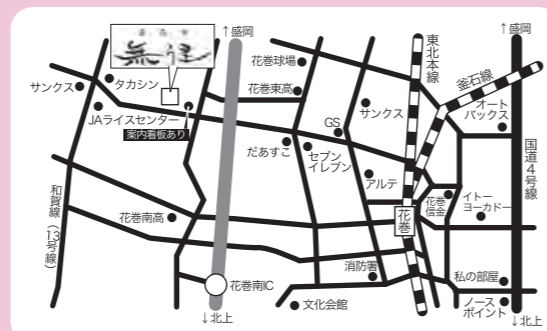
展示室と喫茶はゆるやかに区切られている

### 2014 展示予定

4月	藤波智子 個展	パステル画
5月	船場久嘉 個展	油彩画
6月上旬	高沢翔 個展	写真
6月下旬	熊谷昌美・操 二人展	陶芸
7月	菊池紗規子 個展	ボールペン画
8月	佐々木琢磨 個展	アクリル画・現代絵画
9月	瀬川はるひ 個展	版画・現代絵画
10月	高橋克匡 個展	書
11月	門馬経一 個展	鉛筆画
12月上旬	コレクション 展	

### 無ら里 (ぶらり)

住所：〒025-0058 岩手県花巻市一本杉35-19  
 電話/FAX：0198-24-2026  
 H P：http://burari.gooside.com/  
 mail：burari\_hanamaki@yahoo.co.jp  
 時間：日・月・火・木…AM11:00 - PM6:00  
 金・土…AM11:00 - PM9:00  
 冬季間（12.1.2.3月）はPM5:00close  
 定休日：水曜日  
 入場料：なし  
 駐車場：あり



### ギャラリー Bun

住所：〒025-0042 岩手県花巻市円万寺字松林112-9  
 電話/FAX：0198-23-7275  
 H P：http://www9.plala.or.jp/BUN/  
 時間：11:00～17:00  
 定休日：火・水曜日  
 駐車場：あり  
 入場料：無料

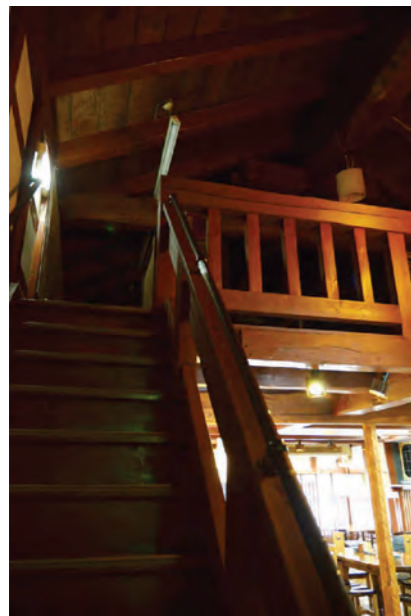






## cafe'de 蔵

蔵の中で「おいしい」と「たのしい」を味わう

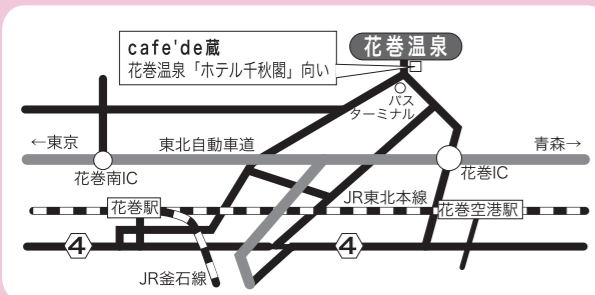


二階の展示スペースへつづく重厚な階段



ゆったりした喫茶スペース。ケーキやパンのファンも多い

**cafe'de 蔵** 住所：〒025-0304 岩手県花巻市湯本1-125  
花巻温泉内  
電話：0198-37-2165  
時間：9:00～18:00  
定休日：無休  
入場料：なし  
駐車場：あり



花巻温泉のなか、薔薇園をバックにした「cafe'de 蔵」は、盛岡から移築された土蔵で、一階にはレトロな雰囲気漂う喫茶店として、観光客のみならず地元ファンにも愛されるカフェスペースがあります。そして、二階スペースは多目的な展示場として活用されており、展示会開催時のみ開放されています。

これまでの展示内容としては、写真・工芸・手芸など多岐にわたっています。各展示会では、常時、展示者が在席していることになっており、展示内容についていろいろお話がきけるのも魅力のひとつ。

重厚な蔵の中で、おいしいお茶をいただきながら、アートやクラフトの世界をのぞいてみるのも良いかもしれません。

### 2014 展示予定

4月16日～30日 瀬山焼展(販売あり)

以降の展示に関しましては「cafe'de 蔵」までお問い合わせください。



# 湯本美術展示館

恩師村上善男氏と美術への想いを胸に

画家として活躍している小田原光晴さんが館長をつとめる「湯本美術展示館」は今年で開館13年目を迎えます。

小田原館長が美術の道へ進むきっかけとなったのは、中学のとき教師として赴任してきたアーティストの村上善男さんに出会ったこと。その後も交流は続き、「湯本美術展示館」も村上さんによって命名、建物も設計されています。館内には、村上善男さんの作品はもちろんです。教員時代に愛用していた自転車等ゆかりの品々も常設展示されています。

「村上先生との交流から生まれた湯本美術展示館は、村上作品の展示はもとより、後に続く人たちにアーティストとしてどうあるべきか、という教えの場として、地方に埋もれた作家の発表の場として提供してゆきたい。」と小田原さんは話します。

この想いによって、月ごとに開催される企画展では、作品のジャンルは問わず、意欲のあるアーティストに広く門戸を開いて展示会を開催しています。

展示作品の素晴らしさはいうまでもなく、美術に対する小田原館長の情熱で運営されている個人美術館です。

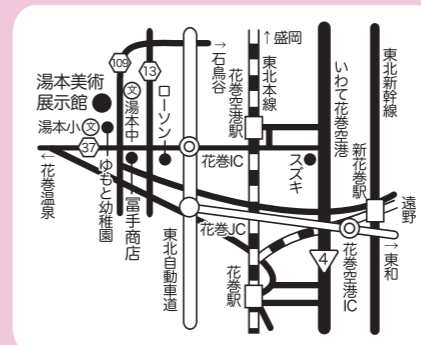


上：白を基調とした展示室には自然光が差し込む  
右：館長の小田原光晴さんと村上善男展示室



### 湯本美術展示館

住所：〒025-0303  
花巻市大畑第3地割340-1  
電話：0198-27-4766  
時間：10:00～17:00  
定休日：月・火曜日  
入場料：無料  
駐車場：あり



### 2014 展示予定

4月7日～26日	多田民雄 展	絵画
5月5日～24日	上村光一・京子 展	絵画
6月9日～28日	大村理文 展	絵画
7月7日～26日	モダンアート 展	平面・立体
8月4日～23日	佐々木秀次 展	金属
9月1日～27日	柴田外男 展	デザイン
10月6日～25日	柳田亮 展	絵画
11月3日～22日	藤井清嗣 展	立体
12月1日～20日	小野壽拓哉 展	平面
1月5日～24日	岩淵毅弘 展	平面
2月2日～21日	澤村明彦 展	写真
3月9日～28日	菅沼緑 展	彫刻





花巻アートマップ

# HANAMAKI ART MAP

